

多久

TAKU



体育祭 (5/28 中央校)



議会だより

平成29年
6月定例会
第33号
5月臨時会

目次 contents

主な議案 ▶ P2
議案質疑 ▶ P3
審査報告 ▶ P3

一般質問 ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ P5
意見交換会報告 ▶ ▶ ▶ ▶ P9
議会活動報告・お知らせ ▶ P10

主な議事日程

6月 5日	開会・提案理由説明
8日	議案質疑
9日 12～14日	委員会審査
16・19日	一般質問
20日	討論・採決・閉会

平成29年6月市議会定例会は6月5日～20日まで（会期16日間）開かれました。

今回は8人の議員が市政一般に対する質問を行いました。
また、市長から提出されました議案19件（予算4件、その他15件）の議案について審議し、いずれも原案どおり可決しました。

主な議案

平成29年度 6月補正予算

コミュニティ助成事業

一般コミュニティ助成事業1件
（多久原区）交付 240万円

（仮称）多久消防署多久南西出張所建設事業

（仮称）多久消防署多久南西出張所建設に伴う用地購入費用および造成工事費用ほか
7001万9000円



農業委員会委員の任命

平成28年4月に農業委員会法が改正され、本年7月20日から任期となる農業委員の選出方法が、市長が市議会の同意を得て任命する方法に改められております。その際に、過半数は認定農業者であること、利害関係を有しないものが含まれていること、及び青年・女性の積極的な登用を配慮され、12名の委員が任命されました。

安藤敬一郎	挽地 守雄
永淵 晴彦	塚元 秀利
桃崎 和子	梶原 義広
井上 美弘	柴田 利英
藤川 一海	閉籠 裕晃
原 久美子	小園 敏則

5月臨時会

●温泉保養宿泊施設（T AQUA タクア）内へ、むつみ荘機能を移転し高齢者がくつろげるスペースを整備するために建築改修工事費の6億3828万円に3597万8040円を増額し6億7425万8040円に変更。また、設備改修工事費の9億3528万円に2433万3480円を増額し9億5961万3480円に変更。

議会人事

市議会

議長 山本 茂雄
副議長 野北 悟

議会運営委員会

委員長 中島 慶子
副委員長 角田 一彦

総務文教委員会

委員長 田淵 厚
副委員長 古賀 公彦

産業厚生委員会

委員長 野口 義光
副委員長 平間 智治

議会広報委員会

委員長 樺島永二郎
副委員長 服部奈津美



議案質疑



議案第24号 一般会計補正予算(第1号)について

中島 慶子

がん教育総合支援事業に要する経費について

質問 がん教育総合支援事業は、新規事業としての計上ですが、どのような事業なのか、また継続の事業となるのか。

答弁 第2期がん対策推進基本計画に基づいて、文部科学省が実施する事業です。この事業は、子どもたちが健康と命の大切さについて学び、自らの健康を適切に管理し、がんに対する正しい理解とがん患者に対する正しい認識を持つよう教育することとを目的としています。

今年度は多久市立東原庁舎東部校



前期課程が研究委嘱を受け、教材等を使用した授業実践により検証、改善をすること、教員や外部講師の資質向上を目的としたがん教育研修会の実施です。

佐賀県がん教育総合支援事業の研究指定として実施するもので、委託期間は契約日から平成30年1月末までとなっており、単年度の事業です。来年度の本事業の継続はありません。

平間 智治

質問 がん教育総合支援導入の背景は、また、担当教諭の配置、学校での時間割をどのように確保するのか。

答弁 がん教育総合支援事業導入の背景は、死亡原因第1位ががんであり、国レベルで、がんへの理解やがん患者に対する正しい認識を深める教育が不十分との指摘があり、子どもががんについての関心を持ち、正しく理解し、適切な態度や行動をと



ることができるようにすることが求められたからです。

担当教諭の配置については、予算的な補助はありませんが、人的な加配措置はありません。よって、東原庁舎東部校にある、学校運営組織の中のいのちの教育推進委員会で対応します。

授業の時間割についてですが、道徳と学活の時間を主に使い、健康教育は保健体育の時間を充てます。

資料館運営に要する経費について

質問 資料館運営に要する経費15万3000円について、事業内容と予算の詳細はどうなっているのか。



答弁 資料館長が4月6日に退職され、後任を6月1日に発令しました。

新館長に知識や人脈を引き継ぐために、前館長にはアドバイザー的な立場でかかわっていただきます。また、新館長就任に伴うパソコン購入に係る費用、8月に資料を借用し企画展を開催する際の経費の増額となっております。

詳細は、4月7日から5月31日まで館長が不在時の館長報酬の減額マイナス26万4000円、前館長のアドバイザー就任に伴う賃金25万6000円、山本作兵衛特別展での資料借用に係る損害保険料1万1000円、資料館長用のパソコンの購入費15万円となり、総額で15万3000円の増額となります。

予算特別委員会 審査報告

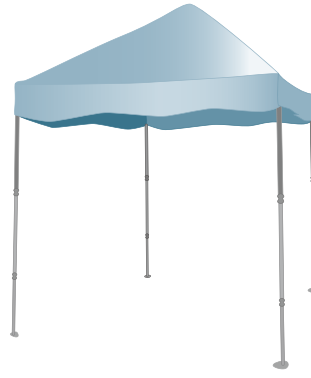


平成29年度多久市一般会計
補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ1925万3000円の増額で、平成29年度の歳入歳出予算の総額は125億6925万3000円となります。

審査の過程で、消防団のワンタツ

テント購入について、テントに消防団のイメージアップにつながるような文字を考えて入れてほしい、また、がん教育総合支援事業費について、今回モデル事業としているが、いい事業であれば継続してほしいなどの意見がありました。全会一致で原案どおり承認することに決定しました。



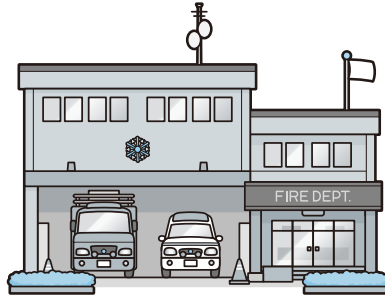
平成29年度多久市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

平成29年度分の前期高齢者納付金の納付額確定により、73万7000円を増額するもので、それに伴い予算の総額は34億1867万3000円で増減はありません。慎重に審査した結果、全会一致で原案どおり承認することに決定しました。

平成29年度多久市一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ7001万9000円の増額で、平成29年度の歳入歳出予算の総額は、126億3927万2000円となります。

歳出予算では、(仮称)多久消防署多久南西出張所建設事業の用地造成に係る費用を計上されており、歳入予算では、歳出補正予算の事業実施に伴う市債を計上されています。不足する財源につきましては、財政調整基金繰入金で調整をされています。



なお、審査の過程で、出張所建物の建設にあたっては、多久聖廟や西溪公園等、周辺の景観に配慮したものにしてほしいなどの意見がありましたが、全会一致で原案どおり承認することに決定しました。

わがまち創生特別委員会報告



定例会の開会日に報告しましたとおり、3月30日に自然動態による人口減少を抑え、社会動態による人口増に繋がる施策として、「子育て支援策に関する提言書」を取りまとめ、市長と教育長に対して提言を行いました。



調査・検討期間については、平成31年3月まで残すところ2年ほどありますが、所期の目的、調査・検討については、先に行った提言をもって概ね役割を果たすことができました。今後は各常任委員会において、調査することになりましたので、今回をもってわがまち創生特別委員会を廃止することに決定しました。

跡地利用特別委員会報告



本委員会では、これまで2年間にわたり学校跡地等の利活用について調査等を行ってきたとおり、現在は旧緑が丘小学校跡地、ハロー及び中島会館跡地を残すのみの状況ですが、議会運営委員会より常任委員会の機能強化に向けて、今後は市の課題等に関する調査を常任委員会で行いたいの提案がなされました。

本委員会の調査・検討期間は平成31年3月までとなっていますが、議会運営委員会からの議会改革の提案を十分に尊重し、今後は所管の常任委員会に引き継ぐこととし、本委員会を廃止することに決定しました。





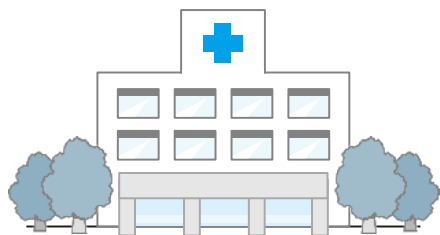
國信 好永

市立病院について

國信 多久・小城地区自治体病院再編・ネットワーク研究会から出された報告書に基づく再編統合に向けた検討の進捗状況は。

答弁 両病院が同じような規模、同じような時期に改築時期を迎えるので今後十数年先の医療需要等を見据え再編・ネットワークの必要性等について実務者同士での協議等は行っているところです。

國信 現在の多久市立病院は、市内をはじめ、唐津市の利用者も多いようです。どうしても多久に誘致してほしいと思っていますが。



答弁 この新病院改革プランの中では地域医療構想に基づく役割分担があるので、県内での医療供給体制を踏まえたところで、今後、多久市での立地の必要性・有利性を訴えていきたいと考えています。

國信 人口減少に歯止めをかけるために分娩可能な医療機関の産科、婦人科、それに小児科が欲しいと思っていますし、高齢社会には眼科、皮膚科、耳鼻咽喉科などが必ず必要となりますが、今度の計画は。

答弁 報告書にあるとおり、現在、小城・多久地区で分娩可能な病院がないことなどを踏まえ、産科、小児科機能など、そのほか、ご指摘の機能を担える病院を目指すという改革プランをしています。

國信 周辺のスポーツ・レクリエーション施設は同時にオープンさせる必要があるのではないかと。

答弁 この施設整備は広域クリーンセンターの建設に伴う地域振興対策事業の一環でありまして、そちらのほうからの財源を見込んでいます。施設のコンセプトを明確にするべく早く進めていきたいと思っています。

温泉保養宿泊施設について



飯守 康洋

多久・小城地区広域クリーンセンター(仮称)について

飯守 経費の支弁方法、負担割合、財源について。

答弁 経費について、建設費と運営管理費から成り、支弁方法は、市が事業主体である天山区共同環境組合に負担する負担金方式となります。

負担割合は、平成29年度から33年度までが平等割20%、人口割80%で、多久市は34・68%、小城市は65・32%をそれぞれの負担割合となります。

また、平成34年度からは、人口割にかわりまして、直近の年度のごみ



の集積量の割合で算出する、ゴミ量割を80%とします。

多久市が負担する建設費の財源については、過疎債を活用します。

飯守 事業の概要、募集及び選定の手順、事業者の選定、入札価格は。

答弁 事業概要は、一般廃棄物の適正化処理を推進していくため、エネルギー回収型廃棄物処理施設の整備を行います。1日当たり57トン、24時間運転の全連焼方式のストーカ方式を採用します。

運営管理方式を含めた公設民営で行う、DBO方式を採用し、設計、建設と運営、維持管理を民間事業者に一括で発注することとなります。

また、事業者選定は、総合評価一般競争入札の形で募集をし、審査の結果、消費税及び地方消費税額を含む100億8720万円、三機工業株式会社を代表企業とするグループが選定されています。

飯守 地域振興対策の、現状とこれからの対策、財源について。

答弁 建設に伴う地域振興対策は、地元地区から出ました要望事項を庁内や天山区共同環境組合で協議をし、既に平成29年度から一部事業に着手をしています。

財源については、天山区共同環境組合の負担金となります。



平間 智治

就学援助における「ランドセル等新入学児童生徒学用品費」の入学前支給を可能にするための対応について

平間 文部科学省で、平成29年3月31日付けで「要保護児童生徒援助費補助金要綱」がどのように改正されたか。

答弁 「経済的理由によって、就学困難と認められる児童または生徒の保護者」について、「就学予定者」の保護者が加えられました。また、支給額が増額改定されました。

平間 要保護児童生徒と準要保護児童生徒の基準は。

答弁 要保護児童生徒は、生活保護を受けている児童生徒のことで、準要保護児童生徒とは、生活保護世帯



に準ずる程度に生活が苦しく、学用品代などの負担が困難な世帯で市教育委員会が認める就学援助を受けている児童生徒のことです。

平間 新入学児童生徒学用品費の入学前からの支給に対応するための今後の方針は。3月に支給できるように検討していただきたい。

答弁 今年度からは支給時期の繰り上げを行ってきました。来年度につきましても、新学期当初の出費が多い4月になるべく早く支給をしていきたいと考えています。

証明書コンビニ交付システム導入について

平間 現在までの検討状況は。

答弁 平成27年度から協議を行っていますが、費用対効果や、今後1通あたりの費用負担が増加していく事も考えられますので、慎重に検討しています。

平間 全国で402団体（対象人口7340万人）が取り組んでいる。マイナンバーカードの普及にもつながると思うが市の考えは。

答弁 先進自治体などの動きも調べながら、多久市としてできることは今後検討し、年内には方向性について結論を出せるように協議を進めたいと思います。



野北 悟

多久・小城地区自治体病院再編・ネットワーク研究会報告書について

野北 佐賀県地域医療構想での位置づけについて。

答弁 地域医療構想につきましては県を5つに分けて、病床数の過不足などを積算されておりますが、最終的には県域全体での医療のあり方と公立病院の果たす役割を考えていきたい。

野北 病院の合併と地域医療の課題解決、どちらを優先事項とするのか。

答弁 最終的には医療供給体制をいかに構築していくかというのが公立病院の役目であると思っています。

野北 小城・多久地区には分娩可能な医療機関がなく子育て環境の充実



の観点から産科、小児科の機能がどうしても欲しいが、医師の確保はできるか。

答弁 全国的に医師確保につきましては大変厳しい状況にございます。新たに診療科を設けるとなると、佐賀大学医学部等と連携して派遣協力体制を築いて実現に向け努力したい。

野北 県の5つに分かれた医療圏の中での議論から話が始まっています。が、県全体の医療課題の解決として議論すべきではないか。

答弁 私どもは中部医療圏の西の端ですが峠を越えると北部医療圏の東の端がある。厳木や相知エリアの方でも市立病院を利用されている実態がある。県全体の適正な病院の配置を行い医療の向上に資する方向で努力していきたい。

北多久公民館の建て替えについて

野北 建て替えは、市役所周辺整備と合わせた計画の中で行うべきだと考えるが。

答弁 現在、市役所東庁舎の東側のほうに立地をしています。東庁舎と、ほぼ敷地は一体化しているような状態でありますので、周辺の全体計画の一つであると認識しています。



樺島 永二郎

多久市におけるマイナンバーカードについて

樺島 多久市で交付が開始された平成28年1月以降の現状は。

答弁 総務省が平成29年3月8日公表している数値では、全国交付率8・4%、佐賀県交付率6・5%、多久市交付率7・1%となっています。

セキュリティについては、番号法及び特定個人情報の適正な取り扱いに関するガイドラインにより、マイナンバー及びマイナンバーが記載された個人情報情報は「特定個人情報」として厳格な取り扱いが定められており、多久市においても、多久市特定個人情報の取扱いに関する管理規程を定め適切な管理に努めています。

樺島 現状の交付率に対する課題と交付率アップのための対策は。

答弁 交付率が伸び悩んでいる要因として、現時点では取得した方にとってなかなか魅力あるサービスがまだ整っていないためではないかと考えています。ワンカード化が整っていくと利便性が上がり、交付率も

飛躍的に伸びると思います。

今後は魅力あるサービスだと多くの住民の皆様が実感できるよう、国が行うサービスはもちろん、市独自のサービスについても充実させていくことが必要です。

樺島 ICチップの空き領域利用による、多久市におけるマイナンバーカード多目的利用の現状は。

答弁 全国の市区町村では、コンビニ交付サービス、証明書自動交付機での活用、印鑑登録証や図書カード等で活用されています。多久市では、コンビニ交付サービス導入に向けた検討は行っていますが、現状では取り組みに至っていません。

【その他の質問】

▼マイナンバー制度（国や関係機関との連携・マイナポータル）への対応について。



マイナンバーキャラクター
マイナちゃん



古賀 公彦

多久市の歴史と観光について

歴史を生かした観光PRは

古賀 交流人口を増やすには、市民が多久の歴史を周知して来客者をもてなすことが大事、歴史年表や学校での学習指導はどうなっているのか。

答弁 郷土資料館に多久の歴史年表があり、商工観光課には「ゆつっらーと散策マップ」の中に詳しく書いてあり、また、学校では多久学の中で多久の歴史や文化等を学ばせています。

古賀 草場佩川は、今年で没後150年の企画をすらしいが、草場佩川会との連携や、支援はどうなっているのか。



答弁 本年12月に、佐賀県と合同で草場佩川の企画展を行い、図録、佩川にちなんだ書道展など佩川会と協力しながら準備を進めています。

観光の設備は

古賀 多久散歩道コースの中に、鶴田皓と弟の高取伊好の生誕地に看板がない。民有地ではあるが相談をして看板設置はできないか。

答弁 龍孫の郷散歩道整備事業では、大看板、中看板、小看板、ステッカー等の設置を22カ所行いました。鶴田家でも看板設置ができないか検討しましたが適した所がなく断念したところです。

現在、ガイドが鶴田家の玄関等で説明をし、パンフレットの中にも明記しており、ネットのアプリの中にも入れています。

古賀 SNSやスマートフォンなどの機能を使えない高齢者などのために、看板をつける努力をしてほしい。また、西溪公園のトイレの改修の件はその後どうなっているのか。

答弁 本年度イベントの時期は仮設トイレで対応しており、来年度の整備箇所として検討したいと考えています。



香月正則

中多久駅周辺整備について

香月 多久駅、東多久駅、中多久駅の利用者状況は。

答弁 平成26年度で、多久駅は乗車人員12万9491人、中多久駅は乗車人員16万7190人、東多久駅は乗車人員5万7673人です。

香月 市内駅で利用が多い中多久駅を整備する必要があるのでは。

答弁 具体的な計画はありませんが駅の利用者送迎時の混雑により、交通に支障が出てきていると承知しており、対策の検討を行う必要があると考えています。

香月 中多久駅利用者の送迎車が駅前交差点内や付近での乗降で交通の妨げや、駅利用者が構内より出る際、大きな歩道もなく歩行者や運転者の双方に危険が及んでいるが、対策が必要ではなかったか。

答弁 現状としましては駅舎と前面の市道の間には1m程度の路肩のみで、朝夕の通勤、通学時には人で溢れている状況であり、周辺では送迎車も停車し、一時的に支障をきたしている状況と理解しています。

提案 人口が集中し、商業、行政機能が充実している地域である中多久駅周辺を多久市の中心市街地として整備の検討や協議を進めていただき、また駅南側へJＲと協議も必要だがホームを整備し、送迎車の利用場所として考えてみてはどうか。

交通安全対策について

香月 中多久駅周辺グラウンド踏切南方交差点については、通行される方々の安全のために優先度を上げて取り組んでいただきたい。危険な場所を放置しておくわけにはいけないと思います。

答弁 危険な箇所とは認識していますので今後、関係機関の皆様の見をお聞きしながら対応策を研究していきたいと思います。警察並びに関係機関、公安委員会と連携しながら安全策を図っていきたいと思っています。



田渕厚

未婚化・晩婚化対策について

田渕 国の調査で、男性4人に1人、女性7人に1人が生涯未婚者で結婚離れが鮮明になったとある。人生が多様化し、結婚観も多様化する中で、非正規労働者が約4割に増え、金銭的な理由で結婚をためらい、少子化に歯止めをかけるためにも、非正規の処遇改善など結婚の後押し、また老後に身寄りのない人が増えるため、介護や医療などの受け入れが課題になりそうとある。その対策と多久市の婚活支援事業の状況はどうなっているのか。

答弁 平成27年から婚活支援に取り組み、126名が参加され、カップルは14組です。また、市内企業等にはできるだけ正規雇用採用として働きかけをしていきたいと思っています。

田渕 多久市の結婚希望は83・6%ですが、国の35歳未満の未婚の方の調査では90%の人が結婚を希望。しかし、家庭を持つとか、持ち家を持つとかは夢と答えている。非正規など雇用処遇が厳しい環境がうかがい

知れる。国も同一労働同一賃金等対策は講じているが、効果は感じられない。多久は今後どのような方向性で臨もうとしているか。

答弁 若い方が前向きに捉えられる結婚支援、子育て支援、定住促進、企業誘致産業振興等の分野で総合的に対策を行っているが、今後も国の制度活用、県との連携を図り、出会い、結婚につながるサポート体制の充実、社会全体で支える気運づくりの推進を図ります。

田渕 社会が応援する、社会全体が血縁を超えて家族のようなつながり、協力する社会を目指すべきと思うが。

答弁 さまざまな方が生活される社会づくりを目指して、今後とも現在の取り組みを活かし、さらに充実させた形でいければと考えています。



「議会改革に関する意見交換会」を開催しました！



5月に市内6会場で市民の皆さんと議員との意見交換会を行い、206人の皆さんの参加をいただき、たくさんの意見をお聞きしました。その中で出された意見とアンケートの一部を紹介します。

議員定数等 について

- ・1名減と言わず、思い切ってもっと削減を。
- ・人口が減るなら議員も減らしてよい。
- ・中身（議員活動）が伴えば減らす必要はない。
- ・議員定数が減ると議員とコンタクトが取れるか不安（地域の声が拾いにくい）。
- ・地区ごとの議員という意識ではなく、多久市全体のことを考えてほしい。
- ・今後、地方議員の仕事は増えていくのに削減して大丈夫か。
- ・定数削減をすれば、新人議員が立候補しにくいのでは。



- ・政務活動費は付ける必要はない。（今までそれで問題はない）
- ・報酬をあげても効果（若い人の立候補者数が増えるなど）がないのでは。
- ・定数削減で報酬アップは、ただ減額分を分配しただけだと感じる。
- ・会議出席の際に支給されている費用弁償（2,600円）を交通費と考えるなら、2 km以上からkm数に応じて支給するべき。
- ・報酬は多久市特別職報酬等審議会で審議することで、議員が上げるのは違う。
- ・多久市の議員報酬は少ないと思う。報酬を上げるべき。

報酬等 について

その他

- ・選挙の無投票については、多久市だけの問題ではなく全国的な問題だ。
- ・一般質問で担当部署に聞けばわかることを質問している。
- ・一般質問の質問者が少ない。
- ・議員の活動（顔）が見えない。
- ・議会機能の充実、議員のスキルアップが必要。



今後の予定・・・

今後の予定としては、議員定数や議会改革などについて、市内の各種団体に所属する「若い世代」や「女性」のご意見をお聞きします。その後、議員定数については、皆さまからのご意見を参考にしながら、全議員で協議し、平成30年3月議会で議案を提出する予定です。

また、政策立案能力・議会機能の充実強化については、引き続き議会運営委員会で取り組んでいきます。

議会活動報告



高齢者スポーツ大会 (5/24・北多久社会体育館)



TAQUA(タクア)視察 (6/20)



障害者体育大会 (6/4・多久市体育センター)



老人会意見交換会 (6/26・社会福祉協議会)

8月
15日※16日※

第69回 多久山笠

花火大会は16日の
21:00～21:30



▶多久山笠祭りの始まり

戦前、天徳寺御本尊弘法大師様の命日(8月21日)に信者が集まって盆綱引きが催されていましたが、戦争で中断していたところ昭和23年、当時の消防団長東郷七蔵氏をはじめ、小川幾三郎氏、森正雄氏 他数名で祭復活の話が起こり、森正雄氏(山囃子笛)、森龍三郎氏(笛)、小川繁治氏(笛)、南里喜八氏(笛)、江守十三男氏(太鼓)、他数名で囃し方を結成して、筋原山笠祭りが始まりました。当初は相知くんち、唐津くんちを見に行き、相知くんちの山囃子を取り入れ、人形山笠の台車も相知町より借りて始まりました。



問 (一社)たく21 ☎20-2203

委員
野口 香月
義正 光則
野田 北洲
悟厚

委員長
樺島 永二郎

副委員長
服部 奈津美

議会広報委員会



広報委員会が新体制になりました

2年間の任期を終え、新たな体制で広報委員会がスタートするはずでしたが… 全員、議会だよりへの愛着が深すぎたため、そのままのメンバーで引き続き活動していくことになりました！委員長と副委員長は新しくなりました。

これから任期2年間、市民の皆さまへ多久市議会の活動内容を解りやすく伝えるため、研究や工夫を重ねてまいりたいと思います。より多くの皆さまに議会だよりを手にとってもらえると幸いです。

最後に多久市では夏のイベント盛りだくさんです。暑さ対策をしっかり行って、健康的に夏をエンジョイしてください！